

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	数 学	科目	数 学 I	単位数	3 単位
対象学年	第 1 学年				
授業担当者					
使用教科書	新 数 学 I 東京書籍	副教材	ニューファースト新数学 I 東京書籍		
スクーリング	必要出席時間数	3 単位 × 1 = 3 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	3 単位 × 3 = 9 枚			
期末試験	合格得点目標	偏差値の 半分以上	考查範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学は何千年もの年月を経て発展し、現在でも活発に研究され進化している。普段の生活の場面で、その数学の知識や技能を身に付ける能力を養う。	数と式、2次関数、三角比、データの分析、論理を学び、世界共通の表し方と記法を身に付け、これらを用いて論証を進める能力を養う。	教科書の例や例題の内容を理解し、解法の書き方を覚え、それに沿って練習問題で自分の解答を作る能力を養い、学んだ事を人に説明する力を付ける。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (切 期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	考查		知	思	主	
4月	数の計算(1)正の整数の四則演算 (3)分数の四則演算	○	○□		No.1 4/18 No.2 5/02	○	○	○	9
5月	(4)正負の数の四則演算 (5)公倍数と公約数	○	○□		No.3 5/23	○	○	○	14
6月	数と式(1)文字と式 (2)面積計算	○□	○□		No.4 6/08	○	○	○	9
7月	(3)2乗根の四則演算 (4)有理数と無理数	○□	○□		No.5 7/11	○	○	○	4
8月	前期期末考查対策授業	○	○□						3
9月	(5)1・2次方程式 (6)1次不等式	○	○□	前期期末考查	No.6 9/13	○	○	○	8
10月	関 数(1)1次関数とグラフ (2)2次関数とグラフ	○□	○□		No.7 10/24	○	○	○	10
11月	(3)2次関数の最大・最小 (4)2次不等式	○□	○□		No.8 11/09	○	○	○	10
12月		○	○□		No.9 12/07	○	○	○	3
1月	三角比(1)鋭角・鈍角の三角比 (2)正弦定理と余弦定理	○□				○	○	○	8
2月	学年末考查対策授業 データ(1)データの分析	○		学年末考查		○	○	○	11
3月	(2)四分位数と箱ひげ図 論 証(1)命題の証明	○				○	○	○	6